

令和7年11月28日

第8号

富良野市立東小学校

TEL 22-4895

FAX 22-4997

和の心と感性

校長 早坂 昌俊



先日、メセナ協会のご協力により講師の先生をお招きし、3年生を対象に狂言の授業を実施しました。

日本の伝統芸能に触れ、体験する貴重な機会となり、子どもたちは狂言の声の出し方や姿勢などを目を輝かせながら楽しんで体験していました。日本の文化がもつ奥深さ、そしてその表現の根底にある和の心の感性の豊かさを、改めて感じた次第です。

さて、少し前に自分の孫に買与えるのに近所の100円ショップで色紙(折り紙)を探しました。なんと50枚全て色違いの折り紙を見つけ、購入しました。表紙の色の名前一覧を見ると、「コバルトブルー」「レモンイエロー」といった横文字の名前がある一方で、「銀鼠(ぎんねず)」「浅葱(あさぎ)」「珊瑚(さんご)」といった、趣のある和名の名前もあり、その表現に温かさを感じました。

そこで、調べてみると、色には日本工業規格(JIS)で定められた269色のほかに日本の暮らしの中で育まれてきた和色(わしょく)や伝統色と呼ばれる色の体系があることが分かりました。

特に和色は、単なる色の名前ではありません。それは、四季の移ろいや自然の風景、あるいは人々の感情や文化的な背景を含んだ、いわば「物語性のある色」です。和色は、たとえば「藍」「碧色」「群青」「青磁」のように、微妙な色の違いを細かく区別していたり、「桜色」「若葉色」「茜色」のように情景そのものを表現しています。



先日、子どもたちが体験した狂言も、まさにこの和の心を表す文化の一つではないでしょうか。大きな表現を避け、少ない道具や動きで、人間の滑稽さや喜怒哀楽を表現する狂言の様式美には、省略の美、つまり「間」や「想像力」を重んじる和の心が凝縮されています。

ここ富良野にも雪が舞い降り、美しい雪景色となっていました。これから本格的な冬を迎えます。朝の冷え込みや、雪を踏みしめる音、あるいは室内で温かい飲み物を飲む時の湯気など、五感を研ぎ澄ませれば、冬ならではの美しい情景や、かすかな自然の声を聴き取ることができると思います。

市内ではインフルエンザなどが流行っていますが、幸い、東っ子は休みも少なく、元気に登校する子が多いです。うがい、手洗い、健康的な生活などの励行で寒さに負けない強い体をつくることはもちろん大切です。そして同時に、冬の自然を全身で感じ取り、楽しむ心を忘れないでほしいと願っています。それが、わたしたちの文化が培ってきた豊かな感性を育む土壤になると思っています。



でなく、たくさんの地域の方に見ていただき、子どもたちも会場もたくさんの笑顔の花に包まれました。



笑顔があふれるパーティーになりました。

カレーパーティー

11月12日(水)は3年生の「カレーパーティー」でした。富良野の特産やそれに係る人たちの願いや思いを調べ、富良野のよさを学ぶ学習です。自分たちが育て収穫した野菜を使い、育て方を教えてくれたJAふらのの皆さんを招待しておいしいカレーを作りました。みんなの



ふれあい交流会

2年生と4年生がそれぞれ地域のサロンと交流会を行いました。2年生は麻町児童センター、4年生は東小学校の体育館を会場に交流しました。2年生は学芸会の発表をアレンジしたもの、4年生は楽しくゲーム交流です。地域の方々とふれあい、地域のよさを学ぶ時間になりました。



保育所交流「あきまつり」

11月26日(水)は学校に虹いろ保育所の子どもたちを迎え、1年生が「あきまつり」を開催しました。秋に見つけたどんぐりや落ち葉などを使い、楽しいおもちゃやゲームを考えました。楽しんでもらうためにルールや説明の仕方を工夫しながら何度も練習を繰り返し、保育所の子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。



できることを考え、調べたこと、考えたことを発表しました。今度、子どもたちが調べ学習をした「HOSTEL TOMAR」で、5年生が考えた外国からの旅行者へ伝わりやすい表示を使ってくれるそうです。自分たちが考えたことが実現できる素敵な学習になりました。



12月行事予定

日	曜	行 事 予 定
2	火	参観日(1~3年)
3	水	心に届く道徳教育(5年)
4	木	参観日(4~6年) スクールバンド説明会
5	金	体力向上推進サポート事業(5年)
6	土	PTA教養部「クリスマスリースづくり」
8	月	鳥沼小交流授業(5・6年)
16	火	人権教室(5年)
18	木	鳥沼小交流授業(4年) ノーメディアデー
19	金	児童会・統制り班遊び 鳥沼小交流授業(1・2年)
23	火	2学期終業式
24	水	冬期休業
29	月	学校閉庁日(~1/5)